

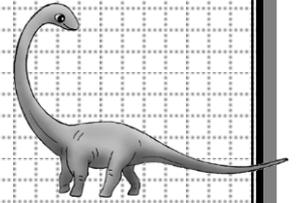
2017年1月

地質 — No. 14

# けんぱくものしりシート

あし か せ き

# 足あとと化石



みなさんは、化石というとなにを思いうかべますか？

化石の多くは、骨や歯、殻など、体の中でも硬くて腐りにくい部分で

すが、生物が歩いたり、はったりしたあとも立派な化石です。

奥州市の胆沢川からみつかった、およそ100~50万年前の足あとの化石をみてみましょう。

## ● ちょうびるい あし 長鼻類の足あと



今の日本には野生の長鼻類(ゾウのなかま)は生息していませんが、かつてはアケボノゾウやナウマンゾウなどが住んでいて、各地から骨や歯とともに、足あとと化石がたくさんみつかっています。



アケボノゾウ

## ● こうているい あし 偶蹄類の足あと



シカやウシ、イノシシなど、ひづめが

偶数の動物を偶蹄類といいます。岩手県



オオツノジカ (アイルランド産)

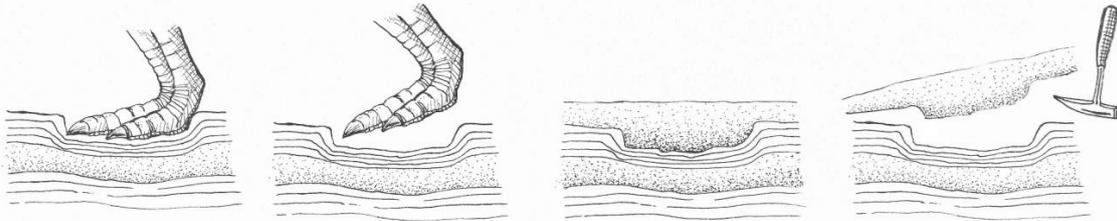
からは、ハナイズミモリウシ

の全身の骨の化石や、キンリ

ュウオオツノジカの角の化石

もみつかっています。

## あし か せ き 足あとと化石のできかた



① 動物が足あとをつける

② くぼみが残る

③ 足あとの上に砂や灰がつもる

④ 発見される

足あと、巣穴、食べ物を食べたあと、ふんなど、生き物の生活した様子が化石になったものを生痕化石といいます。



ふんの化石



巣穴のあと



恐竜(イグアノドン)の足あと化石

## いわてけん あし か せ き ●岩手県の足あと化石

1922(大正11)年、花巻市の北上川の「イギリス海岸」で、宮沢賢治と生徒たちが日本ではじめて足あと化石を発見しました。

1991(平成3)年には、奥州市の胆沢川でたくさんの足あと化石が発見されました。

そして2000(平成12)年には、花巻市立博物館がある場所からも、まるで地面にスタンプを押したかのようなおもしろいアケボノゾウの足あと化石が発見されています。



【解説員 小田嶋麻記子】

参考 『第46回企画展 姿なき化石 足跡から過去をひも解く』 茨城県自然博物館 2009年  
『胆沢川の足跡化石』 岩手県水沢市教育委員会・金ヶ崎町教育委員会 1992年 他

来月(2月)の  
けんぱくものしりシートは  
考古-14だよ!  
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>